

輝く未来へ今、袋井が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～

発行日：令和2年9月9日

地方公務員が本当にすごい！と思う

地方公務員アワード2020

おいしい給食課 石塚 浩司さんが受賞



～ 不屈の精神で、学校給食を軸に関連する多様な施策課題を同時に解決～



石塚氏は、学校給食をフックに地域が抱える構造的な課題を解きほぐし、本市が掲げる「日本一健康文化都市」(心と体の健康、地域と社会の健康、都市と自然の健康)の実現に大きく寄与する「4つの絆」を結んだことが評価されました。

(参考) 過去の受賞履歴

- ・2018年 WHO「ベストプラクティス賞」
- ・2019年 文部科学省「学校給食表彰」を受賞

生産者と給食センターの絆

地元農産物の給食利用には、「安定供給」と「受入体制の変革」が大きな壁であり、これを打破するため、市場に出せない規格外品の受入環境の整備とあわせ、13年にわたる生産者らとの交渉、栄養士や給食センター職員、調理業務を担当する(株)メフォスとの連携の結果、**全国平均26.0%である地産地消率(品目)を大幅に上回る39.5%(R元)を実現。**

『地方公務員アワード2020』
詳細はコチラ



児童・生徒との絆

生産者らの協力を仰ぎ、児童が自ら鞘剥きをしたグリーンピースご飯を食べるなど、実体験を通じ食への興味・関心を高めることで、**子どもたちが以前より野菜を多く食べるようになった(1食当たり野菜摂取量は20%増)。**

姉妹都市との絆

ふるさと教育や都市交流の次代を担う人材を育成するため、郷土料理や特産物を紹介する「**姉妹都市献立の日**」を設定し、地域特性や繋がりなど、まちに対する理解を深める機会を創出。

環境を意識した農福連携の絆

給食の残渣を使った堆肥づくりに加え、福祉施設と連携した**給食用野菜作りによるエコサイクルを確立。**

特別協賛社賞「VOTE FOR賞」も受賞

<受賞理由>

石塚さんの取り組みは、市の掲げる「日本一健康文化都市」の実現に、見事に繋がっている点が特に素晴らしいと感じました。理念を具現化する道しるべを示した公務員として、本当に「すごい！」と思います。

